

本宿3地区
がけ崩れ対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：下仁田町大字本宿
- 地区名：本宿3地区
- 事業内容：崩壊土砂防護柵工
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：避難所 2箇所
人家 4戸（うち特別警戒区域内1戸）

崩壊土砂防護柵とは、
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、被害を防止するものです。

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

・過去に崩れたこともあるため、早く対策してほしい。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	2箇所
保全される人家	0戸	4戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



斜面の崩壊状況

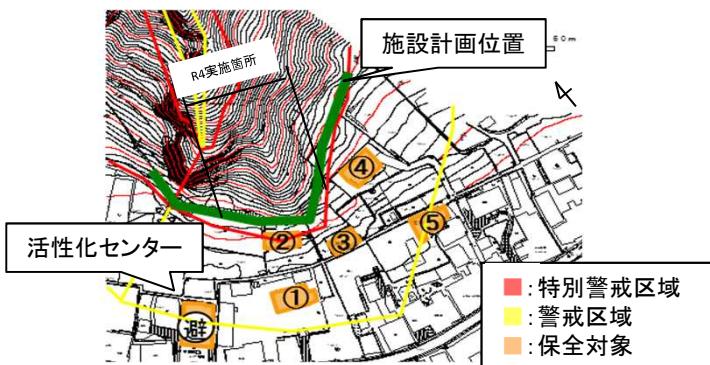
実施後

- ◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況（R4年3月現在）



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和3年度は防護柵の杭設置を実施しました。
令和4年度は引き続き本工事を実施します。

